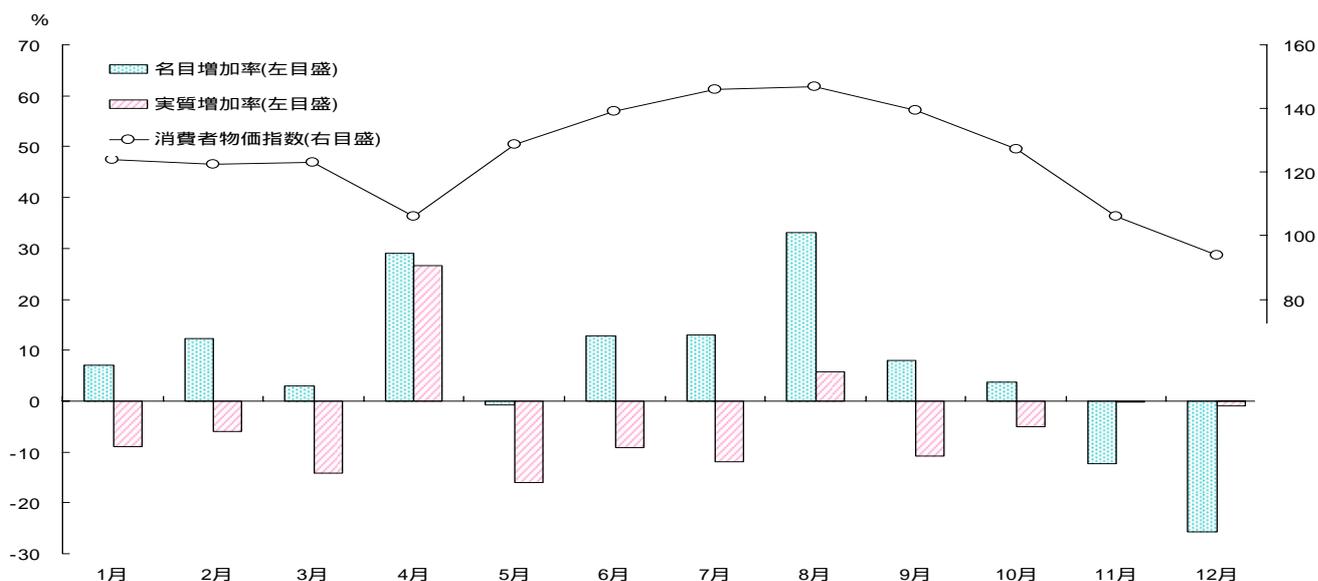


<参考> 消費者物価と消費支出の関連事例 1

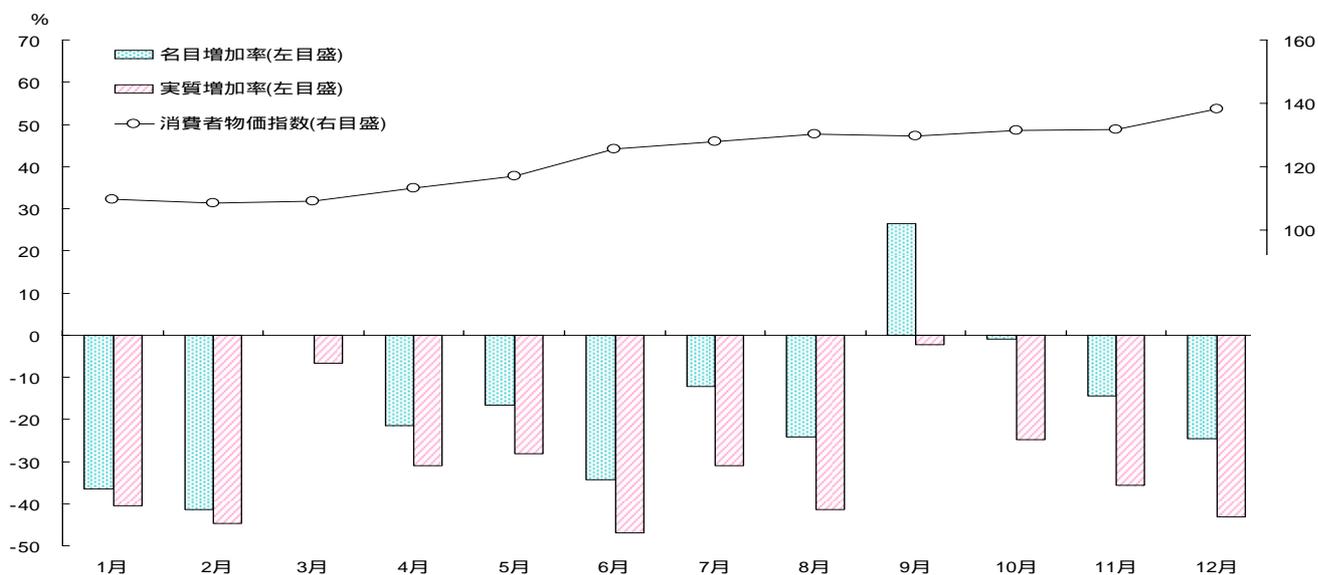
ガソリンの対前年同月増減率の推移



ガソリンの消費者物価指数が、4月の暫定税率の期限切れによる値下げで、急激に下落したことにより、消費支出は対前年同月比で名目 29.1%、実質 26.6%の増加となった。消費支出は4月と8月に、実質で増加しており、8月は夏休みなどで遠出する機会が多いことが要因と考えられる。

<参考> 消費者物価と消費支出の関連事例 2

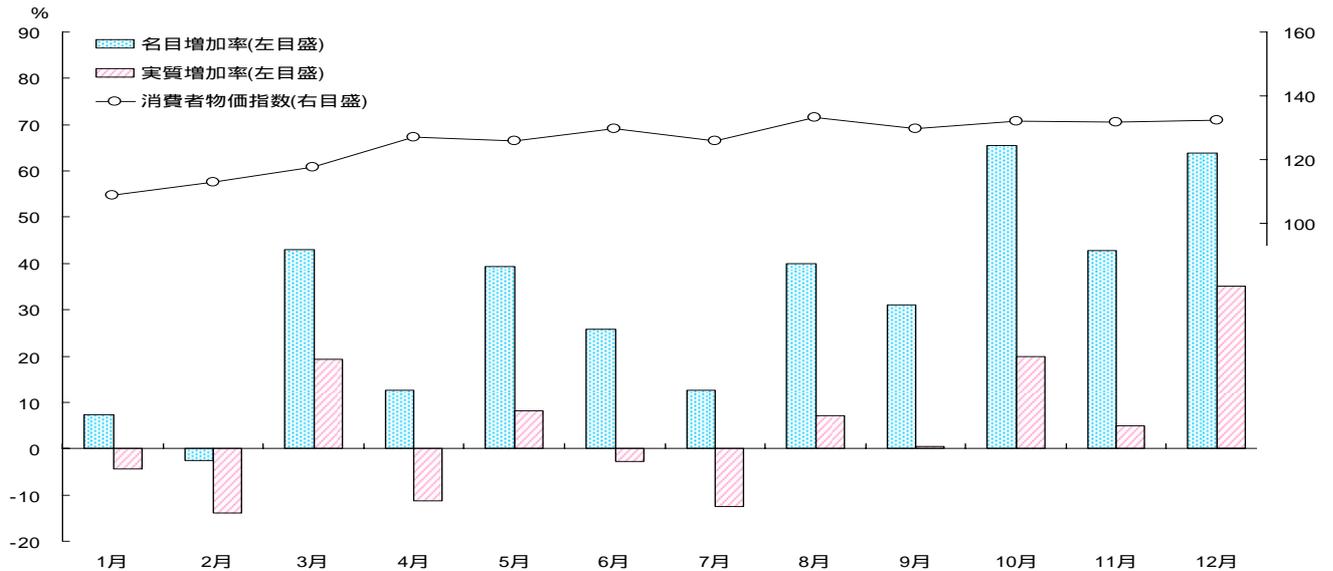
うなぎのかば焼の対前年同月増減率の推移



うなぎのかば焼きの消費者物価指数は、1月から上昇傾向を示している。消費支出の動きをみると、1月以降、前年の水準を大幅に下回って推移した。これは、平成19年に産地偽装問題がテレビで大きく取り上げられ、その後も同様の問題が続いて発生し、社会問題化したことで、購入を控えた事も要因と考えられる。

<参考> 消費者物価と消費支出の関連事例 3

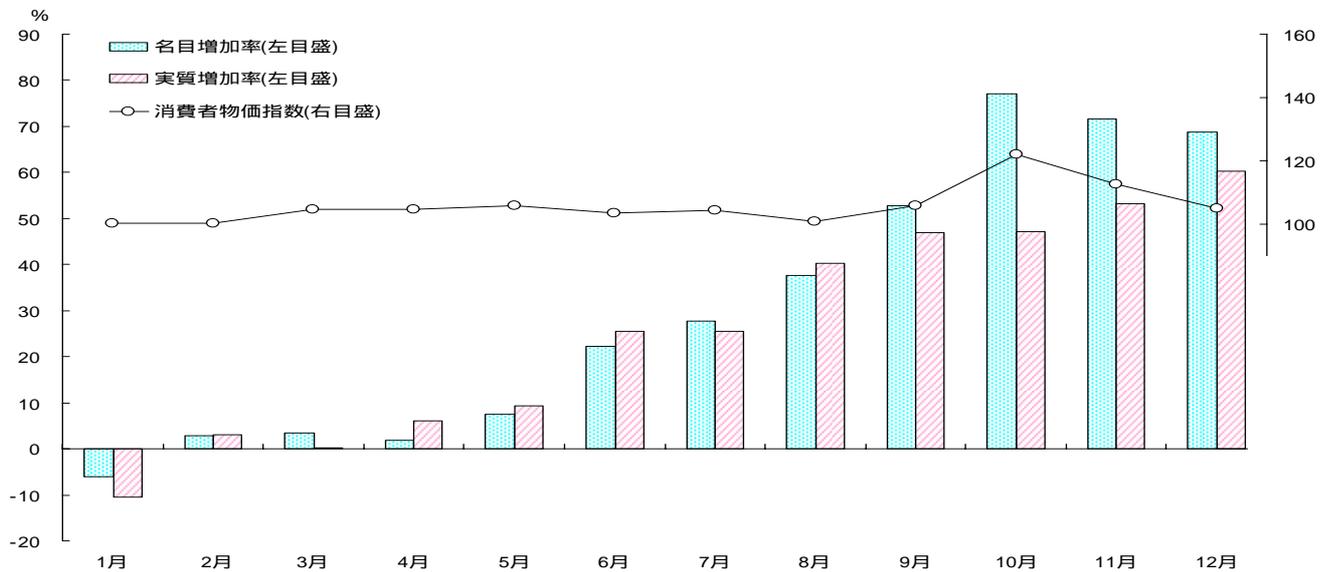
スパゲティの対前年同月増減率の推移



スパゲティの消費者物価指数は、原材料の高騰により、1月以降は上昇していたが、9月から横ばい傾向となっている。消費支出の動きをみると、物価の上昇にかかわらず年間を通し、名目、実質とも増加傾向が見られる。特に、12月には対前年同月比で、実質 35.2%と大幅な増加となっている。

<参考> 消費者物価と消費支出の関連事例 4

バナナの対前年同月増減率の推移



バナナの消費者物価指数は、10月で一時的に大きく上昇した。消費支出の動きをみると、2月から増加傾向となり、12月には対前年同月比で名目 68.8%、実質 60.3%の増加となった。平成 20 年に入り、インターネットや書籍でダイエット効果があると取り上げられ、9月にテレビで紹介され、需要がさらに増えたと考えられる。

これらの事例から、品目により消費者物価と消費支出の関係に様々なパターンがあることが分かる。